

資料4-2  
令和3年度第1回  
事業評価委員会

# 東京都市計画道路補助第74号線 (新宿区高田馬場四丁目～ 同区大久保三丁目)

令和3年7月2日(金)

建設局道路建設部

# 目次

1. 事業概要	.....	1
2. 社会経済情勢等の変化	.....	9
3. 事業の投資効果	.....	12
4. 事業の進捗状況	.....	18
5. 事業の進捗の見込み	.....	20
6. コスト縮減等	.....	23
7. 対応方針(原案)	.....	24

# 1. 事業概要

## 全体図

補助第74号線

○千代田区九段北二丁目  
～杉並区上井草四丁目

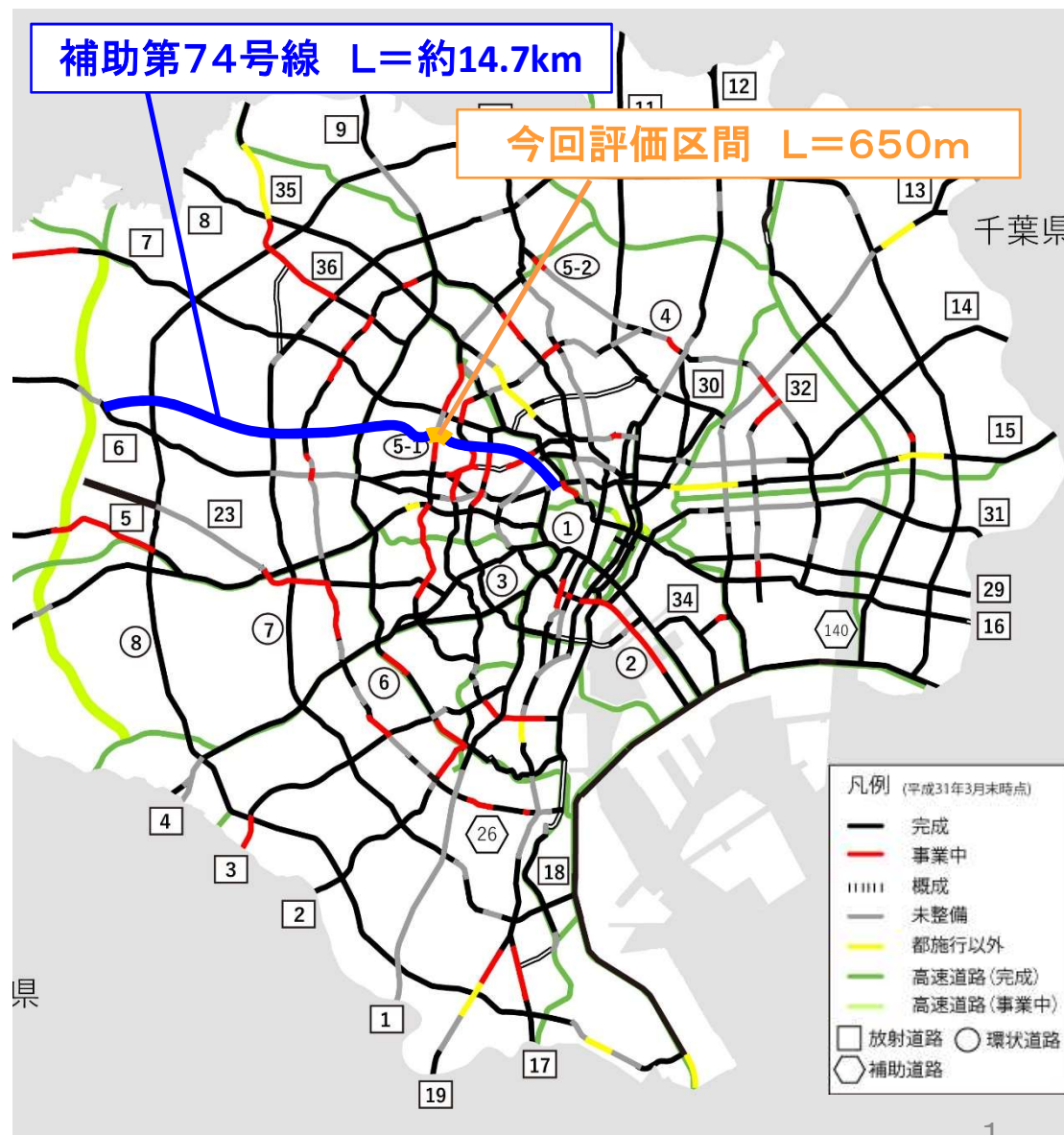
○延長 約14.7km

今回評価区間

○新宿区高田馬場四丁目  
～同区大久保三丁目

○延長 650m

○幅員 28m



# 1. 事業概要



# 1. 事業概要

## 事業期間

平成5年度～令和6年度

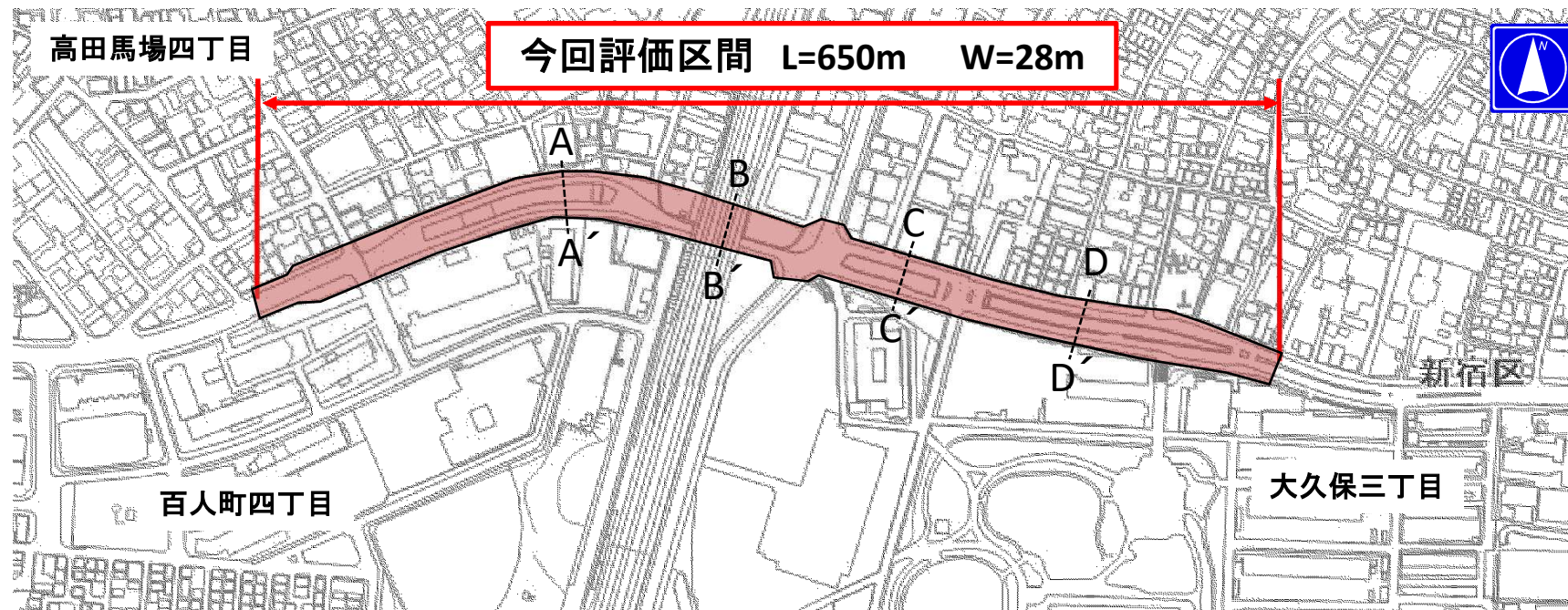
## 事業の概要

本路線は、区部西部の道路ネットワークを形成する重要な路線である。

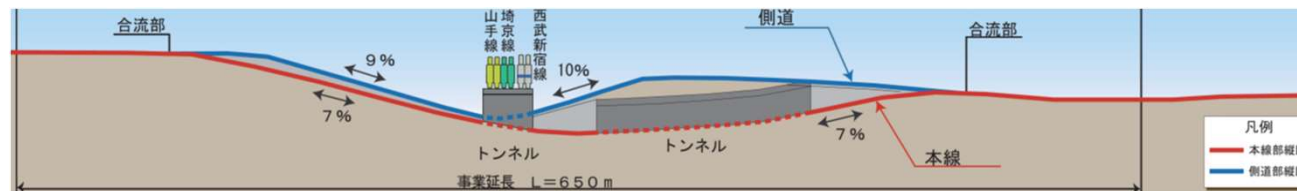
本区間の整備により、**自動車交通の円滑化**が図られるとともに、**安全で快適な歩行空間の確保、東西地域の一体化**による利便性の向上などが図られる。

# 1. 事業概要

## 平面略図



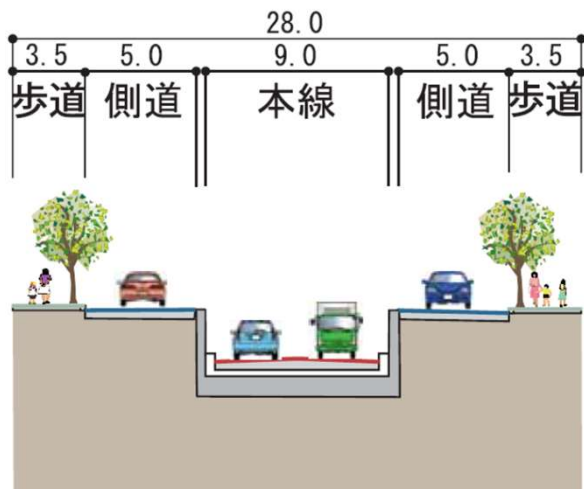
## 縦断略図



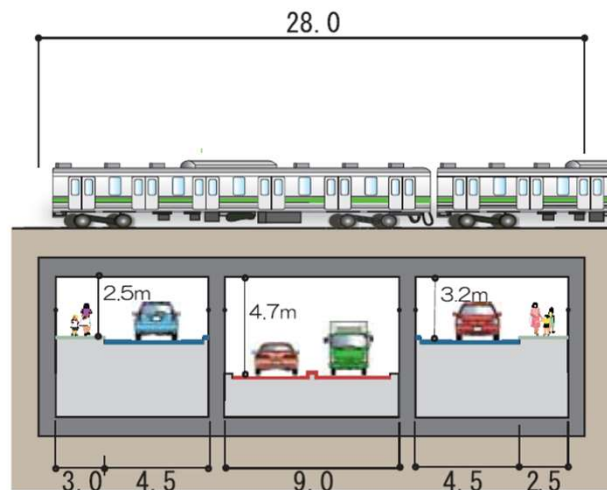
# 1. 事業概要

## 横断略図

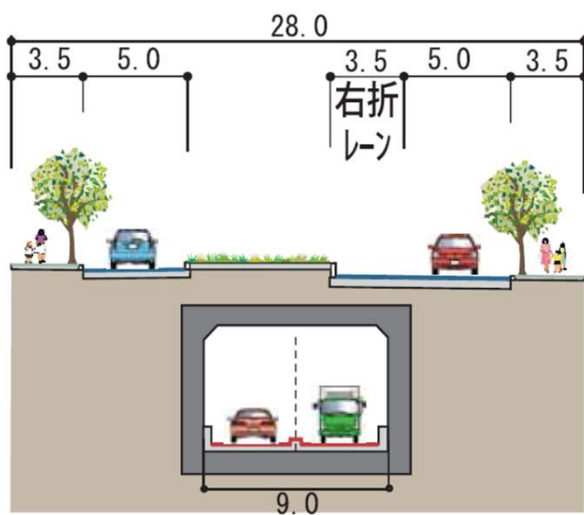
A-A' 断面



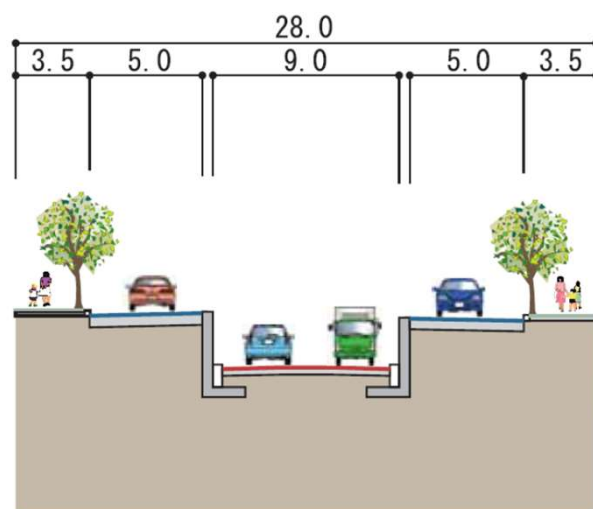
B-B' 断面



C-C' 断面



D-D' 断面



(単位:m)

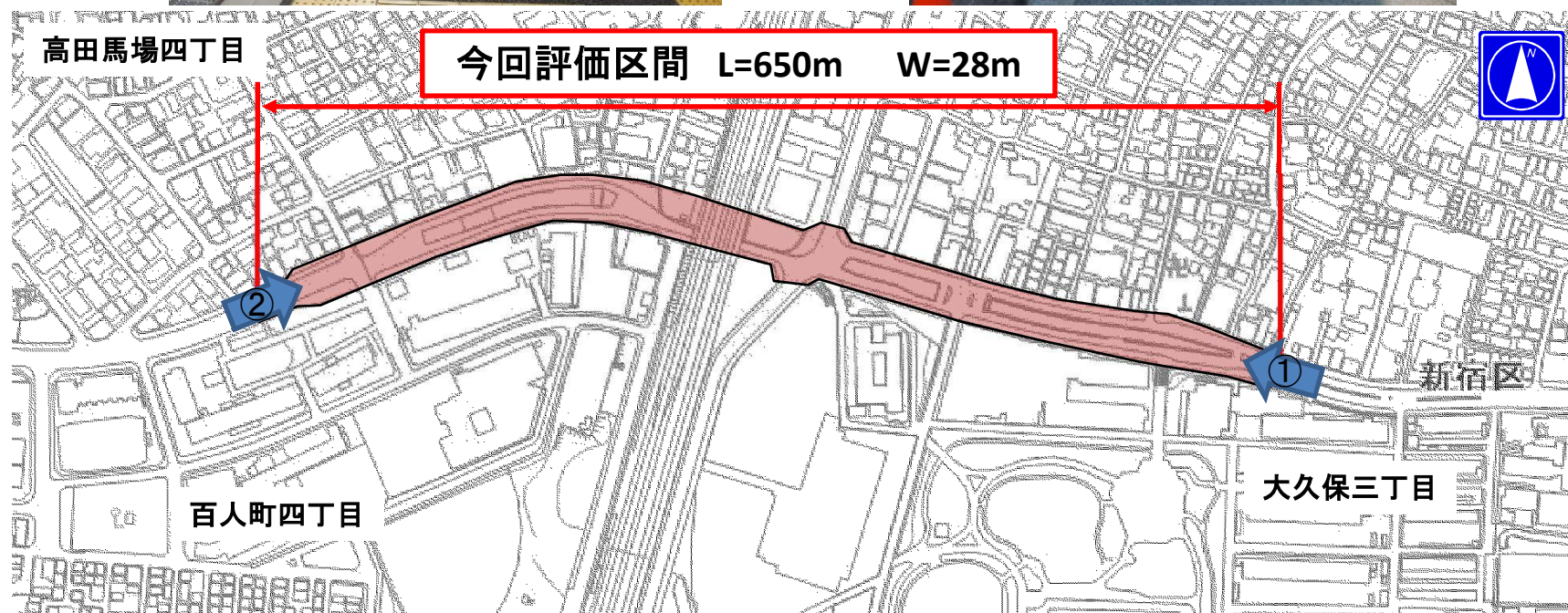
# 1. 事業概要

## 現況写真

①



②





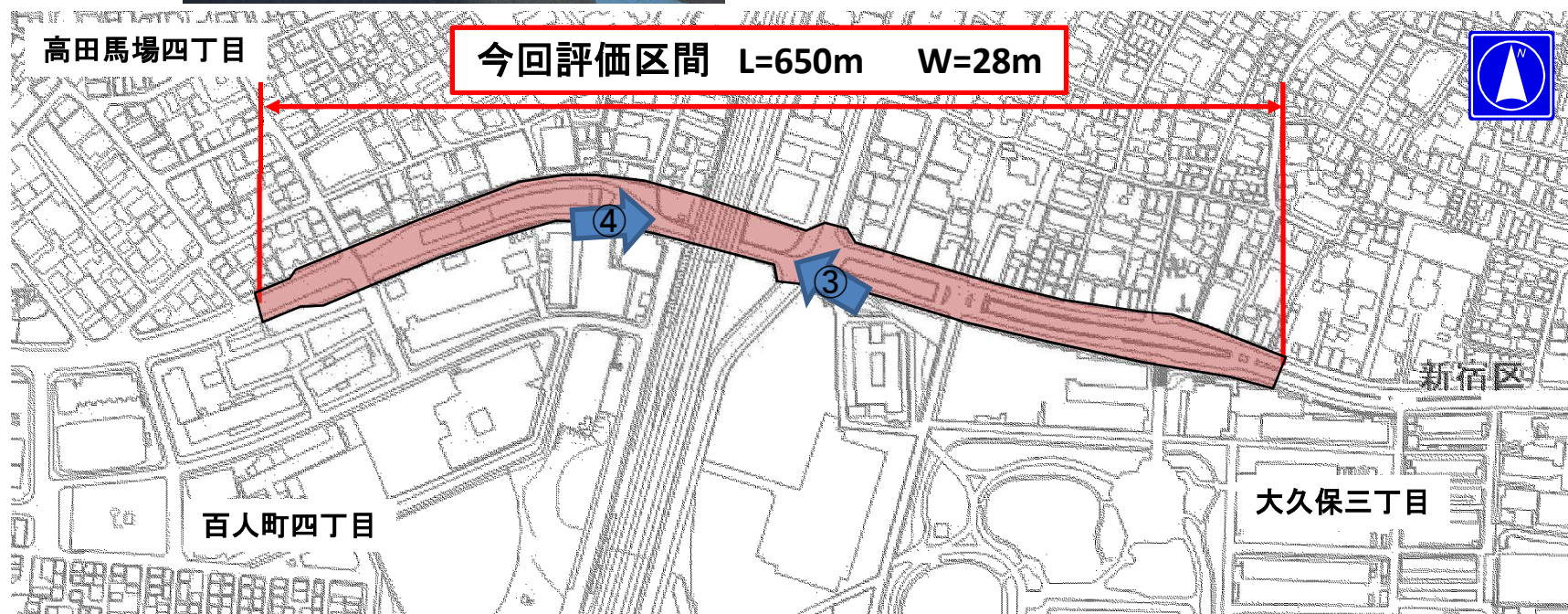
# 1. 事業概要

## 現況写真

③



④



# 1. 事業概要

## 経緯

年度	計画等
昭和21年4月25日	都市計画決定
平成5年4月14日	事業認可取得
令和7年3月31日	事業認可期間

## 2. 社会経済情勢等の変化

### 社会経済情勢等の変化

本路線周辺の平成27年度の現況交通量は、平成22年度と比較して、横ばいとなっている。

○現況自動車交通量(道路交通センサスによる)

平成22年度:24,774台/12h 平成27年度:21,802台/12h



## 2. 社会経済情勢等の変化

### 関連する他事業等の進捗状況の変化

#### 【補助第74号線】

	地区	着手	用地	工事
①	野方	H24年度	36%	実施中

#### 【環状第5の1号線】

	地区	着手	用地	工事
③	戸山	H15年度	100%	実施中

#### 【首都高速中央環状新宿線】

	区間	着手	用地	工事
②	新宿線～池袋線	H2年度	—	H19開通

#### 【補助第72号線】※区施工

	地区	着手	用地	工事
④	Ⅱ期	S63年度	100%	H23開通



### 3. 事業の投資効果

#### 定量的効果

##### 【便益(B)の算定】

現在価値化総便益額	491.0億円
走行時間短縮便益	434.2億円
走行経費減少便益	49.2億円
交通事故減少便益	7.5億円

##### 【費用(C)の算定】

現在価値化総費用額	335.4億円
工事費	244.9億円
用地費	86.1億円
維持管理費	4.4億円

※費用便益分析マニュアル(国土交通省 平成30年2月)に基づき分析

##### 【費用便益比(B/C)の算定】

$$\underline{B/C = 1.5}$$

### 3. 事業の投資効果

#### 定性的効果

##### <交通>

- ・交通渋滞の解消
- ・バスの定時性
- ・迂回交通の減少

##### <景観>

- ・都市景観の向上

##### <防災>

- ・緊急車両の走行
- ・延焼遮断
- ・災害時の避難路の確保

##### <くらし>

- ・商業、産業の活性化
- ・公共施設へのアクセス向上

##### <安全>

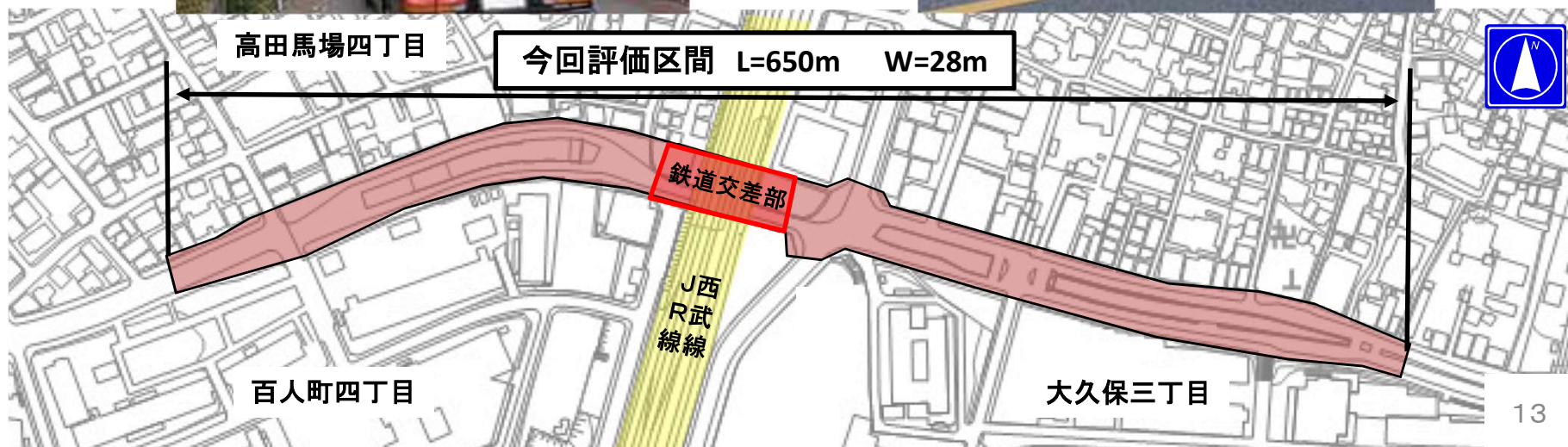
- ・交通事故の減少
- ・バリアフリー化
- ・自転車や歩行者のための空間確保

### 3. 事業の投資効果

#### 定性的効果

- <交通>・交通渋滞の解消
- <安全>・交通事故の減少

鉄道との交差部の幅員は、6mと非常狭い状況であったが、本整備により自動車交通の円滑化が図られる。



### 3. 事業の投資効果

#### 定性的効果

- ＜安全＞・自転車や歩行者のための空間確保
- ＜景観＞・都市景観の向上

歩道を設置することで、安全で快適な歩行空間が確保される。また、電線類を地中化することで、都市景観の向上が見込まれる。





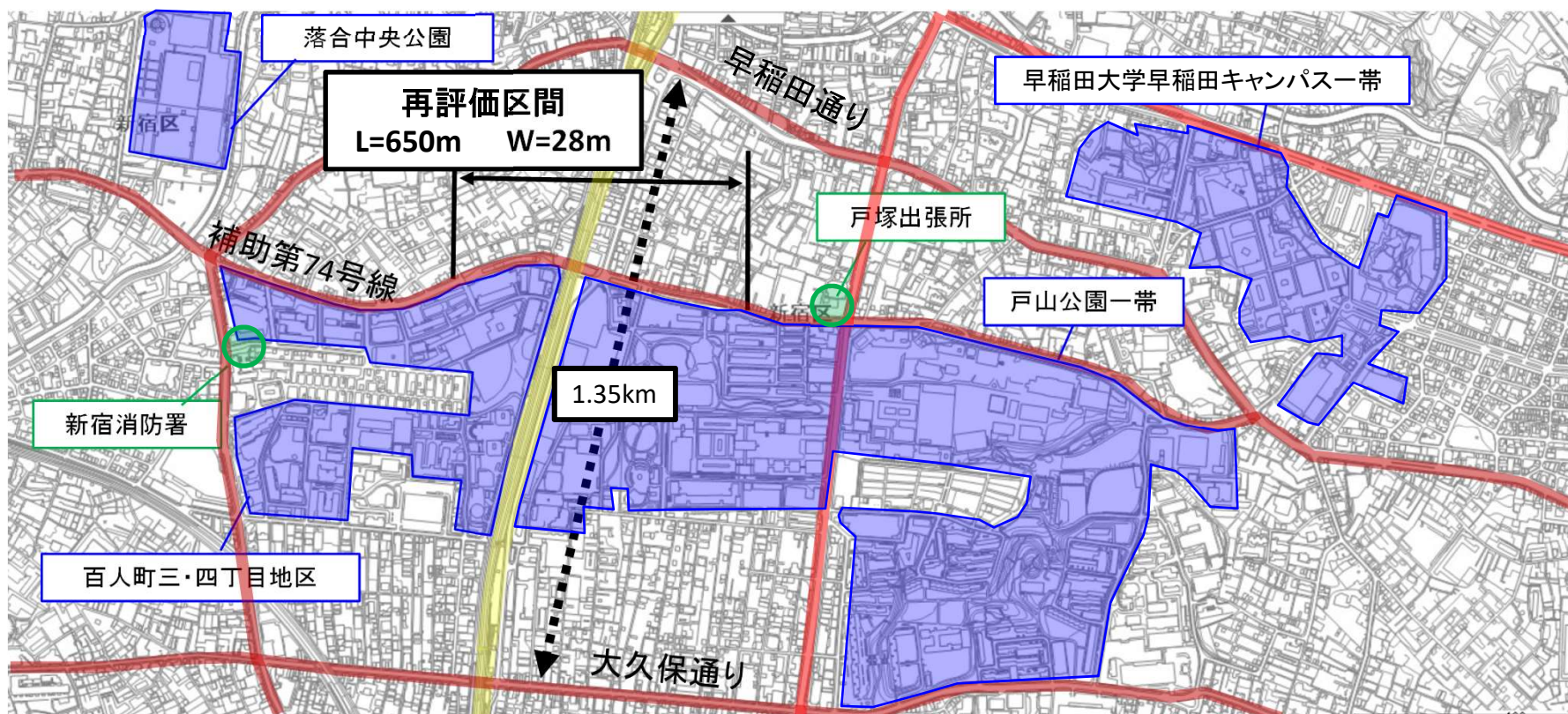
### 3. 事業の投資効果

#### 定性的効果

- ＜防災＞・災害時の避難路の確保
- ・緊急車両の走行

新宿区地域防災計画に基づき、戸山公園一帯、百人町三・四丁目地区、落合中央公園、早稲田大学早稲田キャンパス一帯は、避難場所(広域)に指定されているため、**災害時の避難路が確保**される。

緊急車両の走行が可能となるため、鉄道を挟んで東西方向の到達時間短縮が期待される。



## 4. 事業の進捗状況

### 事業費の執行状況

(R2年度末時点)

	用地費	工事費	合計
全体事業費	6,661百万円	12,400百万円	19,061百万円
執行済額	6,613百万円	10,943百万円	17,556百万円
執行率	99.3%	88.3%	92.1%

### 用地取得状況

取得予定面積 (A)	既取得面積 (B)	用地取得率 (B/A)
6,045m <sup>2</sup>	5,985m <sup>2</sup>	99.0%

## 4. 事業の進捗状況

### 一定期間を要した背景等

- ・多くの地権者から事業への理解・協力を得られたが、一部地権者からの協力を得られておらず、用地折衝に時間を要している。
- ・施工時間に制約のある、JR山手線や西武新宿線など鉄道交差部の委託工事に時間を要した。

## 5. 事業の進捗の見込み

### 事業の進捗状況・残事業の内容

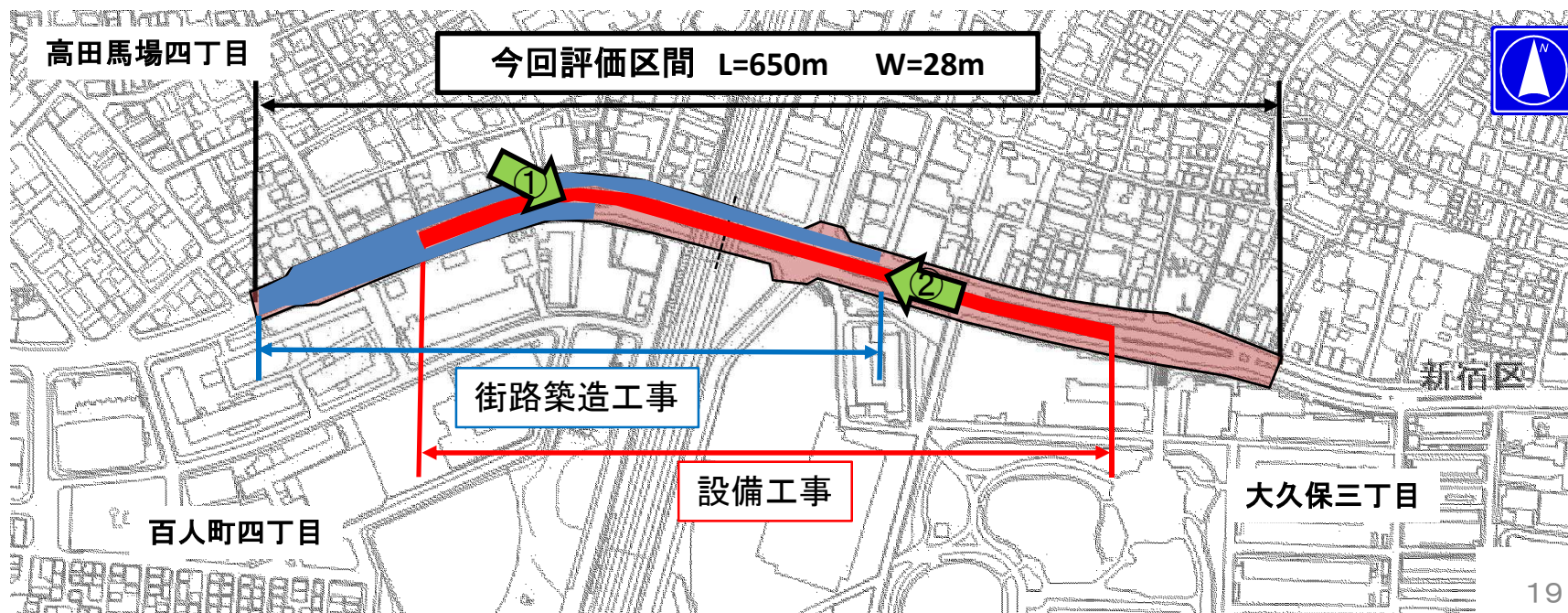
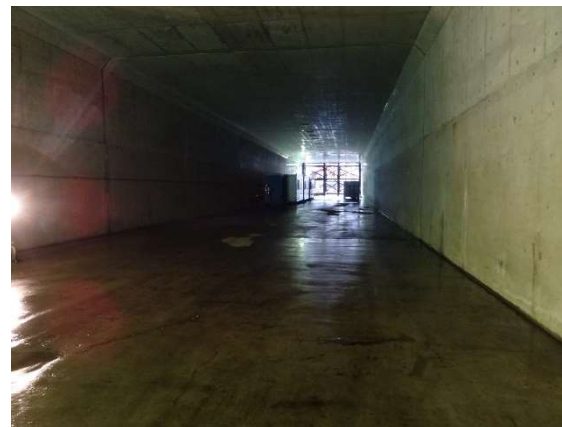
- ・用地は99%取得済であり、引き続き、残る地権者との折衝を継続している。
- ・平成27年度にJR東日本及び西武鉄道の委託工事が完了した。現在は、本線の擁壁築造工事を進めている。
- ・引き続き、本線開放に向けて街路築造工事を進めるとともに、設備工事に着手していく。

# 5. 事業の進捗の見込み

①現況(街路築造工事)



②現況(トンネル内)



## 5. 事業の進捗の見込み

### 今後の事業の進捗見込み

- ・関係人の理解を得ながら用地取得を進める。
- ・本線開放に向けて街路築造工事を進めるとともに、設備工事に着手していく。



現況(鉄道交差部より東側)

## 6. コスト縮減等

### 新工法、事業手法、施設規模等の見直しの可能性

- ・鉄道直下のボックスカルバート工事や、鉄道交差部より東側区間のトンネルは既に完成していることから、新工法、事業手法、施設規模等を見直す可能性はない。
- ・側道部については、一般的な街路築造工事であるため、施工にあたって、新工法、事業手法、施設規模等を見直す可能性は極めて少ない。

### コスト縮減の取組

- ・施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用を行っていく。

## 7. 対応方針(原案)

- 本路線は、区部西部の道路ネットワークを形成する重要な路線である。
- 本区間の整備により、自動車交通の円滑化が図られるとともに、安全で快適な歩行空間の確保、東西地域の一体化による利便性の向上などが期待できる。
- 中止の場合は、事業効果を発現できないだけでなく、これまでの投資に見合った整備効果も得られなくなる。



継 続